



PDA 第7回 PDA 首都圏公立高等学校 即興型英語ディベート交流大会 2020

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2020年11月15日(日) 12:00-17:30

会場：Zoomを用いたオンライン開催

参加者：東京都立日比谷高等学校、東京都立西高等学校、東京都立三田高等学校、
神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、千葉県立千葉高等学校、
千葉県立船橋高等学校、埼玉県立浦和第一女子高等学校、埼玉県立浦和高等学校
大阪府立北野高等学校 (Swing チーム) (全10校)

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、神奈川県立湘南高等学校、
神奈川県立柏陽高等学校、東京大学、名古屋工業大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

今年で第7回目となる首都圏公立高等学校の交流大会。開会式では、東京都立日比谷高等学校の武内校長先生より、「志を同じくする者同士、しのぎを削って、高め合ってください。」と激励のお言葉をいただきました。

PDA 代表理事である中川智皓（大阪府立大学工学研究科准教授）より、参加校の紹介、昨年度大会の様子の共有、ルールの復習などが行われました。ルールの復習では、全員で POI(Point of Information)の練習を行いました。Zoom のミュートを解除し、「POI！」と言いながら POI のポーズをすることができました。

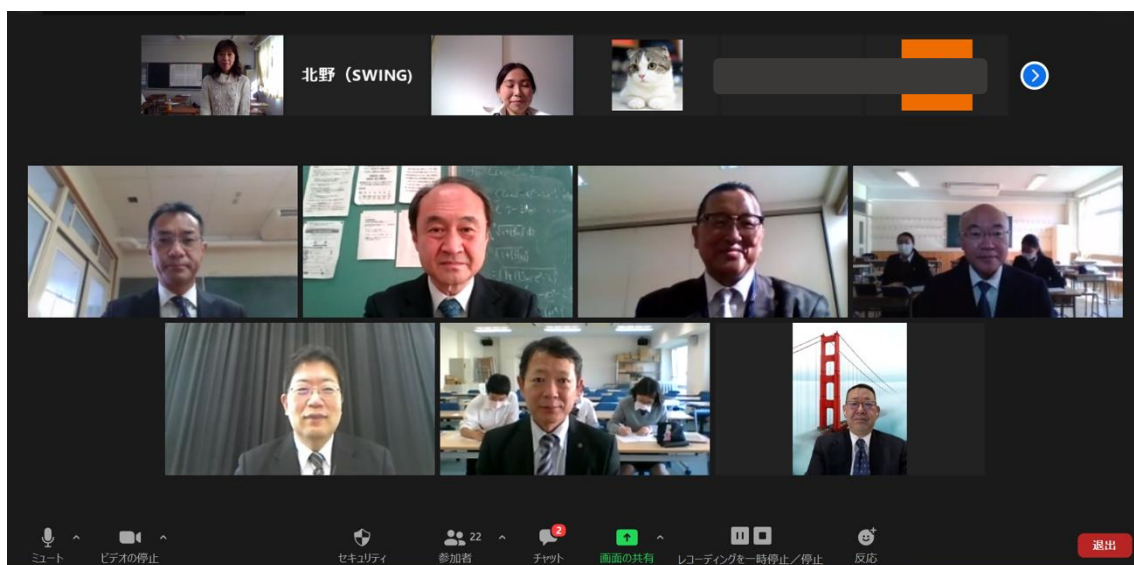


武内校長先生によるご挨拶



参加校の紹介

POI の練習を終えると、早速第 1 ラウンドの始まりです。その準備時間に校長先生の集合写真撮影を行いました。



校長先生集合写真

POI の練習を終えると、早速第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドの論題は、「*Japan should have nuclear weapon.* (日本は核兵器を保有すべきである。)」でした。Government (肯定) チームは、核の抑止力になるという点や、安全保障条約の不安定さを指摘した上で、自分で抑止力を持つことが重要だという点などを主張しました。Opposition (否定) チームは、韓国などと協力することで他国の核兵器に対抗することができるという点、国際社会から批判を食らって外交上不利になるという点などを主張しました。



準備時間の様子



ディベートの様子

第1ラウンドが終わるとすぐ第2ラウンドの始まりです。第2ラウンドの論題は、「*Term-exam should be abolished. (定期テストは廃止すべきである。)*」でした。第1ラウンドでジャッジから受けたアドバイスを活かそうと、相手の理由をしっかりと聞いて反論する、わからない点があったらPOIをして聞いてみる、など取り組んでいる様子が見られました。



ディベート後の握手（北野高校 vs 浦和第一女子）

そしてエキシビジョンディベート前最後のディベートである第3ラウンドです。第3ラウンドの論題は、「*The Japanese government should withdraw the rejection of the six appointed scholars of the Science Council of Japan. (日本学術会議が推薦した6人の学者の任命拒否を撤回すべきである。)*」でした。新聞やテレビで耳にすることの多いこの時事問題について、普段知識を吸収してきた成果を発揮することができました。日本学術会議としてどうあるべきかや、軍事研究の意義など様々な観点から議論されました。



堂々とスピーチ（日比谷高校）



POI！（湘南高校 vs 県立千葉高校）

そしてジャッジを務めたスタッフがもう一度この人のディベートを見たいとエキシビジョンディベーターに推薦した6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*“Go To travel” campaign should be cancelled. (Go To トラベルキャンペーンは中止されるべきだ。)*」でした。感染が広がるリスクや、経済的影響などについてPOIなども交えながら白熱した議論となりました。中には、自身の住む埼玉県を事例に、観光についての議論を展開した生徒も見られました。

オーディエンスの生徒も勝敗を考えながらディベートを観戦し、ディベートが終わると挙手で Government が勝ったか Opposition が勝ったか投票が行われました。生徒ジャッジとメインジャッジの投票の結果、今回のエキシビジョンディベートは Government チームの勝ちとなりました。



エキシビジョンディベート

閉会式では、表彰式が行われたのち、神奈川県立柏陽高等学校の井坂校長先生より、「全員の方で素晴らしい大会になった。リモートでの開催という記念すべきものになった。これからも頑張ってください。」と労いのお言葉をいただきました。



井坂校長先生によるご挨拶

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- PM ■■■■■さん (県立浦和高校)
- LO ■■■■■さん (日比谷高校)
- MG ■■■■■さん (湘南高校)
- MO ■■■■■さん (浦和第一女子高校)
- LOR ■■■■■さん (県立船橋高校)
- PMR ■■■■■さん (柏陽高校)



エキシビジョンディベータ

〈チーム賞〉

- 1位 東京都立日比谷高等学校
- 2位 埼玉県立浦和高等学校
- 3位 神奈川県立柏陽高等学校
- 4位 埼玉県立浦和第一女子高等学校
- 5位 神奈川県立湘南高等学校
- 6位 東京都立西高等学校



1位 日比谷高校



2位 県立浦和高校



3位 柏陽高校



4位 浦和第一女子高校



5位 湘南高校



6位 都立西高校

〈ベストディベーター賞〉

- [redacted]さん (県立浦和高校)
- [redacted]さん (県立浦和高校)
- [redacted]さん (湘南高校)
- [redacted]さん (湘南高校)
- [redacted]さん (湘南高校)
- [redacted]さん (千葉高校)
- [redacted]さん (柏陽高校)
- [redacted]さん (浦和第一女子高校)
- [redacted]さん (浦和第一女子高校)
- [redacted]さん (浦和第一女子高校)
- [redacted]さん (日比谷高校)
- [redacted]さん (日比谷高校)
- [redacted]さん (日比谷高校)
- [redacted]さん (都立西高校)
- [redacted]さん (都立西高校)
- [redacted]さん (都立西高校)
- [redacted]さん (県立船橋高校)

〈POI 賞〉

- ■■■■■さん (県立浦和高校)
- ■■■■■さん (県立船橋高校)
- ■■■■■さん (柏陽高校)
- ■■■■■さん (浦和第一女子高校)
- ■■■■■さん (日比谷高校)
- ■■■■■さん (北野高校(Swing))

参加者の声（アンケートより抜粋）

生徒の声

- ・学術会議が出てきたのに驚き、広く知識を知っていなければならないと思った。（都立西高校）
- ・皆さんレベルが高くて大変でした。オンラインという形になりましたが、寧ろ相手の顔がよく見えたり、POI がしやすかったりと利点も多かったと思います。楽しかったです。（浦和第一女子高校）
- ・同年代の方の素晴らしいディベートを聞いて、自分ももっと頑張ろうと思った。（県立千葉高校）
- ・モーションは難しいものも多かったが、チームで協力することで戦えているという実感があった。（柏陽高校）
- ・自分の英語力を駆使しながら、相手の意見に対し反論して、論の強化の仕方を学ぶことができた。（日比谷高校）
- ・トピックも面白くさまざまな意見が出ていて本当に楽しかった。オンラインでしたが自分の学校以外の方々とディベートができてとても刺激的でした！今後も学校にて引き続き英語の学習、ディベートの練習をしていきたいです。（三田高校）
- ・昨年参加したときよりもコミュニケーションをとることができ、積極的にスピーチを表現できたので成長を感じることができた。（県立浦和高校）
- ・今までに言われたことを活かしてできた。他校と交流できることがとても嬉しい！（湘南高校）
- ・学びが多く同学年の生徒でも自分より実力が上の方がいて本当に良い刺激となった。来年も挑戦してみたい。（浦和第一女子高校）
- ・レベルが高くて、いい経験になりました。他校とディベートできる貴重な機会で、最後エキシビジョンに出れて、とっても緊張したけどもっと頑張ろうと思えました！（県立船橋高校）
- ・エキシビジョンディベートの人たちのレベルの高さに驚いた。zoom でも大規模なことができたことは素晴らしいと思った。（県立千葉高校）
- ・エキシビジョンディベートで、凄く力のある方々のディベートを見て、勉強が出来たので、良かった。（北野高校）

教員の声

- ・参加するたびに生徒も自分も目に見えて成長できるのが大変ありがたいです。緊張しますが何にも代え難い充実感を得ることができます。
- ・生徒も私も成長できたように思います。